



# こころざし

**【学校教育目標】**  
**夢の実現に向かって たくましく**  
**挑戦する児童生徒の育成**

唐津市立加唐小中学校

第 16 号

令和6年12月6日発行

文責 校長 多久島 一仁

## 人権についてみんなで考えました

12月4日（水）に人権集会をしました。児童生徒の発表では、①「学級のめあて」の発表、②いじめ防止標語の紹介、③人権発表（高学年 平和教育「修学旅行」）がありました。

学級のめあては、次のとおりです。友達や仲間に対しての心



- |       |                               |
|-------|-------------------------------|
| 1年生   | : みんなにあいさつをする                 |
| つばき   | : だれとでもニコニコ笑顔であいさつタッチしよう！     |
| 3・4年生 | : 自分のことも相手のことも考えて行動しよう。       |
| 5・6年生 | : 心が穏やかになる生活をしよう。             |
| 中学1年生 | : 一つの優しさ、一つのありがとう、めざせ10ありがとう。 |
| 中学3年生 | : 小学生に対して優しい言葉を使おう。           |

遣いが感じられるめあてを考えてくれました。

高学年の人権発表では、6年生が、「自分らしい生き方を」という題で、二の鳥居を訪れたり、平和講話を聴いたりしたことや、二十六聖人記念館で神様を信じることで死ぬことを選ばなければならなかった人たちのことについて考えたことを発表し、したいことができる世の中にしていきたいという思いを述べました。

担当の先生からは「バスがきましたよ」という絵本の読み聞かせがありました。目の不自由な方と一緒にバスに乗る子どもが、「さきさん」から「みなさん」に、そして「ゆあさん」と受け継がれていくという心温まるお話でした。

皆さんのおかげで心の温度が上がって、ぽかぽかとなる45分間を過ごすことができました。

## 昔の加唐島について知ることができました

11月27日（水）のほんわかタイムで、先生が昔の加唐島について話されました。

加唐島にはエヌヲやオンス、メンスなどのカタカナの地名がいくつかありますが、これはどうやら韓国の言葉と関係があるようだと紹介されました。また、以前は上店や下店というお店があって、スーパーと呼んでもいいくらい、たくさんの商品が並んでいたようです。加唐島には畑はあっても、田んぼがないため、田んぼの学習のために、シートで水田を作り、稲を育てていたこともあったそうです。加唐小中学校の文集を今も毎年作成していますが、これを読むと加唐島・松島の歴史やその当時の人たちの思いや考えが伝わってくるので、これからも続いてほしいと先生は話を結ばれました。



子どもたちからは、「七つの島の歌があったことに驚いた」「カタカナの地名が韓国から来たのを知った」などいろんな発見のあった時間になりました。

## 日本一おもしろいスーパー

11月27日（水）の集会で、伊万里市にある「ファインズ TAKEDA」を紹介しました。

TAKEDA の副社長は私が以前担任したことがあり、その頃からユーモアたっぷりの生徒でした。ダンスと歌とおしゃべりでお客さんを楽しませ、そうした面白さを経営に取り入れることで、今や全国から訪れる人がいるほど人気のス



ーパーマーケットになっています。また、他のお店との差別化を図るため、手作りにもこだわっているということで、副社長自らお惣菜を作っています。YouTube でも動画を見ることができ、すごい数の再生回数になっています。また、テレビでも取り上げられたこともあります。

自分の個性を仕事に生かし、経営を安定させていて、そうした自分の長所を生かしているのがすばらしいと思いました。

スーパーの仕事というのは商品を売る仕事ですが、彼はそれに加え、お客さんを楽しませて幸せな気分になりたいという「使命感」を感じるという話をしました。

加唐小中学校の子どもたちも、将来は自分の個性を生かして活躍してほしいと思います。

